

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～ No. 4-8(204)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝ 令和4年10月28日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

田んぼは金色のじゅうたんで満たされ、秋空に脱穀の音が鳴り響いています。猛暑や台風の影響もありましたが、子どもたちは支援者と協働で、美味しいお米を作りました。田んぼを通じて子どもたちは、自分たちができる作業もあることやお米作りに自信がついたと思われます。各小学校の稲刈りと脱穀の様子をお届けします。

稲刈りと脱穀：市来小学校、羽島小学校、川上小学校、照島小学校、荒川小学校

市来小学校

- ・10月8日（土）に多くの保護者や支援者と5年生が協働で稲刈りと脱穀を行いました。
- ・足場の悪い所はカマで稲を刈り、残りはコンバインで刈りとり、脱穀をしました。収穫した粃は、米袋に入れ、学校に運びました。
- ・最後に、新村さんから、「藁くずの中に、食べられるお米もある。お米を大切する心を持って欲しい」との話がありました。また、「農業はきつい面もあるがこのような収穫の喜びもあり、これを機会に興味を持ってほしい」との話もありました。



藁くず中にも、まだ、お米があります！（市来小）

羽島小学校



昔ながらの足ふみ脱穀機！（羽島小）

- ・10月8日（土）に稲刈り、14日（金）に脱穀をしました。3年生以上が参加し、最初に支援者の有村さんと新村さんから、稲の切り方、カマの使い方、稲の置き方について教わりました。特にカマの使い方は、手は逆手で稲を掴み、足を広げて、切るようにとの指導がありました。
- ・また、稲4束分で茶碗1杯のご飯が得られるので、稲を大事に扱うようにとの話もありました。
- ・なお、稲刈り前に支援者の方たちが、外側の稲を刈り、

足場を固めて頂いたので、スムーズな稲刈りができました。

- ・カマの切れ味が悪く、稲を刈るのに子どもたちはやや苦労しましたが、深まる秋の稲刈りを楽しんでいました。

- ・脱穀には、昔の足ふみ脱穀機も使いました。子どもたちは、稲架（以下、ウマ）から稲を外し、おそるおそる稲を有村さんに渡し、脱穀機にかけてもらいました。その後、稲はコンバインで脱穀しました。

川上小学校



稲はクロスしておいて！（川上小）

できるように、株を残さないように切り取ること、刈取った稲はクロスして、置くようにとの注意がありました。また、稲刈りが慣れている児童は、スイスイと小気味よく刈り進みました。

照島小学校

- ・10月14日（金）に稲刈り、28日（金）に脱穀しました。全学年と保護者、校区女性部の方々が参加されました。
- ・子どもたちは刈り取り作業を、保護者や支援の方々は稲結び作業を、米づくり協力会の方々がこの両作業の間に入り、作業をサポートされました。
- ・支援者の方たちの手際よさもあり、11時頃には全ての稲を「ウマ」に干すことが出来ました。
- ・「いつもより上手に早くできました」という講評があり、子どもたちは満足気でした。

荒川小学校

- ・保護者、支援者が参加し、10月14日（金）に稲刈り、21日（金）に脱穀をしました。
- ・稲刈り中に、突然、ネズミやカエルが現れ、子どもたちの驚きの声が田んぼに響き渡りました。
- ・稲刈りが無事終了し、ハルト2号（かかし）と記念撮影しました。ハルト2号は、5年生の児童が夏休み中に作成した力作です。本年の豊作を祈り、作成したとのことでした。
- ・「ここで採れたお米は「ホタル米」だよ！」と、児童が教えてくれました。さすがホタルの里、荒川ならではのお米です。

- ・全学年が参加し、10月12日（水）に稲刈り、21日（金）に脱穀をしました。
- ・川上小では、6年生が1年生を、5年生が2年生を、4年生が3年生を教えながら作業を進めました。子ども間での「和」が築かれているようでした。
- ・支援者の川島さんと田淵さんから、カマを振り回さない、回りを見ながら刈る、自分の手を切らないよとの注意がありました。また、稲は田おこしが簡単に



「ウマ」にたくさん稲が乗りました！（照島小）



豊作を祈るハルト2号（かかし）！（荒川小）

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会社会教育課

（Tel 21-5128）（FAX 36-5044）／ご意見・質問・相談もどうぞ

統括コーディネーター（串木野地域 濱田俊浩）（市来・生福地域 有元 操）